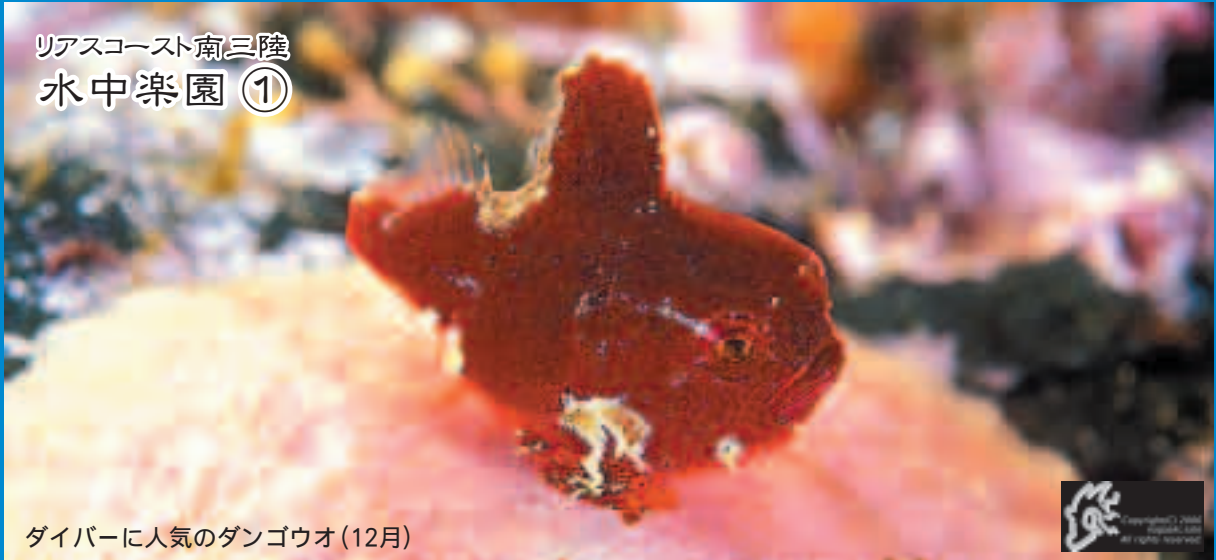
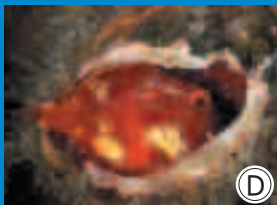


リアスコースト南三陸
水中楽園 ①



ダイバーに人気のダンゴウオ(12月)



④



③



②



①

ダンゴウオの一生

ここ三陸沿岸は、寒流の親潮と暖流の黒潮が交錯する水域ですが、それに加え対馬暖流も注ぎ込む、全国的に見ても稀な水域です。また、水中にも陸上と同様に四季があり、春夏秋冬季節によって様々な生物たちが姿を現し、命の営みを繰り返しています。

そんな『リアスコースト南三陸』の水中世界を今月から町内在住の水中カメラマン佐藤長明さんの写真と解説で紹介いたします。まず、第一回はダイバーに人気の『ダンゴウオ』です。

ダンゴウオを一年中コンスタントに観察できるのは、北海道から沖縄まで数あるダイビングポイントの中でも、この三陸沿岸しかありません。そのため、このダンゴウオ見たさに関東・関西から多くのダイバーがこの地を訪れます。

成魚でも体長わずか2センチメートル程度と小さく、魚のくせに泳ぎがへたくそ、またお腹にはヒレが変化して出来た吸盤を持ち海藻の上などにくっつくことができます。

好物は小さなエビやカニの仲間。寿命はたったの1年なので、時期によって観察サイズが変わります。写真はダンゴウオの一生です。

- 写真A ダンゴウオ幼魚(6月)
- 写真B ダンゴウオ成魚オス(2月)
- 写真C ダンゴウオ成魚メス(2月)
- 写真D ダンゴウオ成魚オス抱卵(5月)

編集後記

▶表紙は「はまゆり大橋」一般車両開通時の様子です。▶内緒の話ですが、これ実は表紙の構図を決める試し撮り。後で海水浴客が多くいる写真を撮るつもりでした。▶しかし悪天が続き、撮影に足を運んでも、空と水面が暗く人も少ない。結局、人がいて海と空が少し青い初日の写真を採用しました。▶これ内緒にしてください。本紙発行日には梅雨が明けているかな？
担当 佐藤

●日曜当番医

- 8/6 佐藤徹内科クリニック
☎47-1175(志津川字廻館前)
- 8/13 高橋クリニック
☎46-4315(志津川字中瀬町)
- 8/20 本田記念あおいクリニック
☎46-4530(志津川字十日町)
- 8/27 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)
- 9/3 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)

●第1・第3日曜歯科当番医

- 8/6 三浦歯科医院
☎42-2418(本吉町津谷明戸)
- 8/20 志津川駅前歯科クリニック
☎46-4114(志津川字廻館前)
- 9/3 小野寺歯科医院
☎36-3717(歌津字伊里前)

※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。